

森町教育委員会定例会会議録 (要旨)

会議名	令和5年6月森町教育委員会定例会				
開催日時	令和5年6月23日(金) 14時00分				
会場	森町文化会館 第2研修室				
出席委員	教育長 委員 委員 委員 委員	野口和英 村松昌吾 鈴木眞子 早馬保男 佐藤佐和子			
出席者	学校教育課 課長 課長補佐 学校管理係長 庶務係長	塩澤由記弥 土屋智也乃 井口寧了 鈴木真央	健康こども課 課長 社会教育課 課長 課長補佐 社会教育係長 文化振興係長	朝比奈礼子 三澤由紀子 磯谷博俊 中村美幸 山崎俊輔	
傍聴者	なし				

1 開会

教育長	委員の出席を確認し、開会を宣告。
-----	------------------

2 前回会議録の承認

教育長	事前に配付してある前回定例会の会議録について、質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。
教育長	前回定例会会議録の承認を宣し、教育長の報告を求める。

3 教育長の報告

教育長	6月に開催及び出席した各種会議等について報告する。
1日	<ul style="list-style-type: none"> ・課長会議 (総務課からの連絡等) ・園長・校長会 (和顔愛語(1) 教育委員会行事等) ・学生協専務理事訪問 (R4利用状況・今年度組織等の説明)
2日	<ul style="list-style-type: none"> ・台風2号接近により小中短縮日課(町内小中学校は給食後下校措置) ・第1回就学支援委員会 (就学支援対象児についての審議) ・職員事前配備体制・災害警戒本部(9:30災害警戒本部設置)
3日	<ul style="list-style-type: none"> ・台風2号による被災対応 (被災状況把握、バス運行等) ・災害復旧体制 (18:30災害復旧体制に切り替え)
5日	<ul style="list-style-type: none"> ・人事評価面談 (旭が丘中校長・教頭) ・文化財保護審議会 (旧藤江勝太郎家についての答申) ・磐田法人会訪問 (絵はがきコンクール協力要請)
6日	<ul style="list-style-type: none"> ・人事評価面談 (森中校長・教頭、森小校長・教頭) ・学校給食連絡協議会 (R5給食運営・指定業者等協議)
7日	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議招集・全員協議会 (人権擁護委員、給与・町税条例・学校設置条例改正、補正予算等・森町DX推進計画、跡地利活用)
8日	<ul style="list-style-type: none"> ・遠州中央農協各支店長来庁 (R5なかまづくり(野菜)活動要請) ・教育委員会学校施設等訪問 (森中・一宮幼)

9日	・教育委員会臨時会 ・一般質問打合せ	(旧藤江勝太郎家答申を受けて) (6月議会一般質問に対する答弁内容の打合せ)
12日	・森町生徒指導連絡協議会	(少年非行・交通事故の概況、夏季休業中の生徒指導)
13日	・森町いじめ問題対策連絡協議会 ・静西教育事務所人事管理訪問	(いじめ対策等) (森小への人事管理訪問)
14日	・磐田納税組合・税務署来庁 ・本会議2日目	(税の作文・ポスター協力要請) (条例・補正予算・一般議案質疑、後期高齢者医療広域連合議会議員)
15日	・課長会議	(総務課からの連絡等)
16日	・磐周学校保健会総会 ・教育委員会学校施設等訪問	(挨拶・決算・役員・事業計画等) (飯田幼・旭中)
17日	・学校給食運営委員会 ・3市1町スポーツ推進委員実技研	(R5学校給食の運営等) (森アリーナでの研修会にて挨拶)
19日	・歴史文化伝統保存会総会 ・静西教育事務所人事管理訪問	(大ホールでの定例総会にて挨拶) (宮園小への人事管理訪問)
20日	・静西教育事務所人事管理訪問	(森中への人事管理訪問)
21日	・交通安全推進会議 ・森のお茶贈呈式	(夏の交通安全県民運動実施計画) (森町茶商組合から贈呈)
22日	・本会議3日目	(一般質問、学校教育課・社会教育課に関する答弁等)
23日	・教育委員会学校施設等訪問 ・教育委員会定例会	(園田幼・宮園小・アリーナ・文化会館・図書館)
26日	・静大附属小学校長・中学校長訪問	(研究協力委員派遣要請)
27日	・本会議最終日 ・臨時市町教育長・校長会	(条例・補正予算・一般議案討論採決・常任委員会委員長報告等) (教職員人権感覚・第三者委員会・部活動ガイドライン)
29日	・森町DX事業説明 ・図書館協議会	(デジタル・トランスフォーメーション推進計画) (R5森町立図書館の運営計画)
30日	・教育委員会学校施設等訪問 ・総合教育会議	(天方幼・森幼) (幼稚園のあり方・地域部活への移行計画)
教 育 長	教育長の報告について、質疑を求める。	
委員 全 員	質疑なし承認。	

4 付議する案件

【議 事】

教 育 長	議事について事務局に説明を求める。 議第16号について説明を求める。
社会教育課 課 長 補 佐	議第16号 令和5年度森町美術品等活用委員会委員の委嘱について 5月の定例会で制定した美術品の活用方針を協議するための森町美術品等活用委員会設置要綱第3条の規定により、令和5年度森町美術品等活用委員会委員を委嘱したく、教育委員会の議決を求める。構成員は、森町名誉町民選考委員会と同様の選出基準で、現在団体の役職についている方々とする。
教 育 長	以上について質疑を求める。
委員 全 員	質疑なし承認。
教 育 長	議第17号について説明を求める。

文化振興係長	議第17号 森町文化財保存活用地域計画作成協議会委員の委嘱について 森町文化財保存活用地域計画作成協議会設置要綱第3条の規定により、森町文化財保存活用地域計画作成協議会委員を委嘱したく、教育委員会の議決を求める。昨年度お認めいただいた計画の作成にあたり、設置要綱に基づいて資料のとおり委嘱をする。
教育長	以上について質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。

【報告事項】

教育長	続いて報告事項について事務局に説明を求める。 報第21号について説明を求める。
学校教育課 課長補佐	報第21号 令和5年度北海道森町児童生徒友好親善訪問団派遣について 訪問の趣旨としては、友好町である北海道森町との交流を通してより広い視野と自己表現を養い、両町の児童生徒の親善を一層深めるものである。令和2～4年度までは、新型コロナウイルスの影響により交流が出来ずにいたが、今回3年ぶりに実施をする。訪問の目的は資料にあるとおり。実施期間は8月2日(水)から4日(金)の3日間で実施をする。これまでは4泊5日の活動内容であったが、北海道森町からホームステイを入れた内容での募集が難しいという意見があったことや、前回訪問した際に体調を崩してしまった児童がいたことから、期間を短くした。訪問団員は各小学校5年生、中学校2年生がそれぞれ2名ずつ、引率が森中大場校長を始め5名の計15名で訪問をする。
教育長	以上について質疑を求める。
教育長	昨年度まではオンラインで実施をしていたが、今回久々の訪問となる。
早馬委員	継続する事が大切だと思うので、負担の無いように実施をしてもらいたい。
委員全員	他に質疑なく承認。
教育長	報第22号について説明を求める。
学校教育課 課長補佐	報第22号 令和5年度広島平和記念式典児童生徒派遣事業について 派遣先は広島市で、「平和記念式典」へ参加をする。期間は8月5日(土)、6日(日)の1泊2日。訪問団員は森小6年生、森中3年生がそれぞれ2名ずつと引率が3名の計7名で訪問をする。活動内容や日程は資料のとおり。
教育長	以上について質疑を求める。
早馬委員	時期的に混雑しており、また暑い時期でもあるため体調には十分気をつけて訪問してほしい。
委員全員	他に質疑なく承認。
教育長	報第23号について説明を求める。
庶務係長	報第23号 町費会計年度任用職員(小学校、教育委員会事務局)の任用について 6月1日よりJETプログラムコーディネーターとして新たに2名を任用した。JETプログラムコーディネーターは、JETプログラム事業で来日しているALTの生活上必要な諸手続について支援をするための職員である。今年度についても新たなALTが来日する予定のため、その者を含めて支援をする。 また、外国児童生徒支援員として6月13日から1名任用した。理由としては、森小学校区にボリビアから入国した児童がおり、その児童の編入手続き等における通訳や学校での支援を行うためである。

教 育 長	以上について質疑を求める。
委員 全員	質疑なし承認。
教 育 長	報第24号について説明を求める。
健康こども課長	<p>報第24号 町費会計年度任用職員(幼稚園)の任用について 7月1日から森幼稚園に高木さんを任用する。高木さんについては、正規職員の産休代替の嘱託講師としての任用となる。 また同じく森幼稚園の臨時講師として大沼さんを6月19日から任用し、年中の担任補助をしていただく。 さらに預かり保育支援員として6月20日から新たに森幼稚園に高良さんを任用し、飯田幼稚園には長期休暇中の預かり保育支援員として倉島さんを7月24日から任用する。</p>
教 育 長	以上について質疑を求める。
委員 全員	質疑なし承認。
教 育 長	報第25号について説明を求める。
社会教育係長	<p>報第25号 「森の夢づくり大学」開設講座について 今年度も4月14日(金)から18日(火)の5日間、学生募集を行った。今年度は42講座の募集、延べ419人の申込みがあり、31講座延べ397人で開講することとなった。電子申請を取り入れてから3年目となり、約半数が電子申請での申込みをしている。開講講座数は昨年度より3講座減少したが、学生は昨年度と比較し52人程増加している。今年度の学長には「リラックスヨーガ」の溝口さん、副学長には「ハーモニカ初級」の鈴木さんが選出された。今後の予定としては、7月20日(木)に学生代表者会、8月7日(月)に理事会役員会、来年3月16(土)、17日(日)に大学祭を予定している。</p>
教 育 長	以上について質疑を求める。
委員 全員	質疑なし承認。
教 育 長	報第26号について説明を求める。
学校教育課長	<p>報第26号 森町議会6月定例会報告について 7日(水)に本会議招集があり、人事案件の採決や条例・補正予算議案の提案理由の説明がされた。この中で学校教育課から学校設置条例の改正を出している。また終了後、全員協議会が開かれ、DX推進計画についてと小中学校跡地利活用の進捗についての報告があった。14日(水)の本会議2日目には、条例と補正予算、一般議案の質疑が行われ、さらに22日(木)の本会議3日目の一般質問では、5名の議員から質問があった。教育に係る部分として、まず加藤議員から「小中学校におけるシチズンシップ教育の現状は」ということで、公職選挙法改正で投票が18歳以上となり、また成人年齢が引き下げられたことで、学校において社会に参加する児童生徒の教育が今まで以上に必要になっているという状況を受け、「シチズンシップ教育の現状と今後の推進にむけた取り組みについて」と「シチズンシップ教育を通して育てたい子ども像は」という質問であった。 教育長からの答弁として、学校現場においてシチズンシップ教育という言葉ではなく、主権者教育やキャリア教育という名前で小学校から高校までを見通した中で成長段階に応じた取組みをしているという説明をした。具体的には小学校3年生の社会科で森町の様子を知って理解することから、4年生では生活環境、5年生では自然環境、6年生では日本国憲法についての学習をしている。中学校における学習については、小学校学習を引き継ぎ、より多面的多角的に捉え、中学3年生の公民分野において国民主権や民主主義の基本や仕組みについて学習をしている。また中学校においては、生徒会活動によって主権者としての役割について実践を通して学んだり、地域学習として地域の課題、特色をテーマにグループで考えをまとめて発表したりすることで、主権者としてや地域の一員としての意識付けに繋げるよう取り組んでいると報告した。また今後の推進に向けた取り組みということについては、今までの取り組みを継続しながら深めていくと答弁した。</p>

社会教育課長

続くシチズンシップ教育を通して育てたい子ども像については、第一歩として身近な社会である森町の生活を契機として、政治や人権などの問題を主体的に捉えてより良い社会にするにはどうしたら良いのかを考え、授業での知識だけでなく、社会生活に実践者として関わっていくことのできる児童生徒を目指していると答弁をした。

続く加藤議員の「森町総合体育館「森アリーナ」の管理・運営について」で2つ質問があった。1つ目の「怪我人等緊急時の対応やマニュアルについて」は、まず基本的には利用者の責任において応急措置や搬送、消防への救急要請などの対応を行っていただくことが前提であり、施設側の対応としては、救急用品や必要に応じて部屋の提供、AEDの設置及び職員が普通救命講習を受講し、緊急時に対応できるよう体制を取っている。マニュアル化については今後検討すると答えた。

2つ目の「館内で私物の放置が散見されている」という質問で、器具庫の中に体育館のものではない物が置かれているという指摘であった。答弁としては、前提として私物を放置することは認めていないが、スポーツ少年団や体協競技部など公共性や利用頻度の高い団体が使用する備品等で、利用の都度持ち運ぶことが特に困難なものについては、体育館と相談のうえ、一部器具庫に置くことを認めている。ただし、表示等をしている訳ではなく、体育館が認めているかどうか明確ではないことから、今後整理をしていきたいと答弁をした。

次に川岸議員の質問について、「今年3月に策定した「遠州の小京都リノベーション計画」について社会教育の観点からどのように関わっていくか」という質問であった。遠州の小京都のまちづくりを進めるに当たっては、地域住民の参画が重要だと捉え、平成29年3月に策定された「遠州の小京都まちづくり基本計画」の中でも「遠州の小京都森町」が町民に浸透していないことが課題となっており、町民への浸透とおもてなし意識の醸成が戦略のポイントとされている。そのような中で遠州の小京都リノベーション計画の方向性として、地域住民の役割というものがあり、地域づくりや人づくりは社会教育課が担うべき役割と考えていると答弁した。また社会教育課にはその他にも係があるため、様々な事業を通して町民の心の豊かさや人と人との交流に重点を置いて取り組んでいきたいと答弁した。二つ目の質問について、「遠州の小京都を説明するにも難しく、また森町の歴史的人物がいるにも関わらずあまり知られていない。資料館に行けば分かるが、それ以外に知る場所が少ないことから、観光の観点からだけではなく、森町の原点や歴史を知ることが必要ではないか」という提案であった。答弁としては、資料館以外に歴史に触れる場所が少ないという部分を補うために、資料館では令和2年度からfacebookを使って情報発信に努めている。また町内会や小中学校での出前講座、歴史伝統文化保存会や民間団体と連携して、例えば「町並みと蔵展」で歴史講演会や偉人の紹介をする取り組みなどを行っていることから、今後も町民が歴史や文化に触れる機会を提供していくと答弁した。また社会教育課の充実というのは、おそらく人員や予算、事業などそういったものの充実ということが考えられるが、今年度文化振興係は1名増員していただいたこともあり、限られた人員の中で役割分担をしながら、それぞれが課題に取り組んでいく必要があると考えている。予算や事業についても、今回コロナ禍を経て、人と人が触れあう大切さと地域の伝統行事の伝承の必要性が見直されているため、既存の事業を行う中で町民が求めるものを見極めて事業内容の充実という形で取り組んでいきたいと答弁した。三つ目の質問について、「町の職員や議会の議員や各種団体の代表などと小京都を共通の意識とするための学びの場や話し合いの場を持つてはどうか」という質問については、話し合いの場については産業課で答弁をしたが、学びの場については、社会教育課はこれから杭迫柏樹氏の展覧会や藤江勝太郎氏の講演会も計画しており、またPR動画も作成する予定であるため、それらを通して町民に向けて発信していく予定であると答弁をした。また町の職員が森町の歴史をよく知るための研修会を開催したらどうかという提案については、研修という形であれば総務課とも調整しながら検討すると答えた。

教 育 長

以上について質疑を求める。

委員 全員

質疑なし承認。

教 育 長

報第27号について説明を求める。

学校管理係長

報第27号 令和5年度町単独事業森町立森中学校下水道接続工事について
6月16日に実施された入札により、事業費9,790千円で鈴木設備(有)と契約をした。契約日は6月21日、工期は6月23日から11月30日までである。内容については、森中学校の

	校舎内の排水について、これまでプール南にある219人用の浄化槽で処理されていたが、こちらの区域が下水道の計画区域となっており、接続する町道に下水本管が整備されているため、こちらへ下水を流出するという形になる。これについては、今後の大きな修繕等にも備えるという意味もあり、6系統に分けるとともに、既設の浄化槽は、コンクリート躯体は撤去しないが、安全性を考え砂や碎石で埋め立てをするという安定化処理も含まれている。
教 育 長	以上について質疑を求める。
委 員 全 員	質疑なし承認。

5 連絡事項

教 育 長	連絡事項について、説明を求める。
庶 務 係 長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月30日(金)幼稚園訪問及び総合教育会議の開催について。 ・ 次回の定例会を7月26日(水)13時30分から文化会館第2研修室で予定。

6 閉 会

教 育 長	以上で本日の日程を終了し、閉会とする。 15時10分開会
-------	---------------------------------

上記のとおり、会議の顛末を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

署 名 人 教 育 長

委 員

委 員

委 員

委 員

事 務 局
